

個人情報の紛失について（お詫びとご報告）

【紛失した個人情報の内容】

紛失した個人情報は、本学教員が研究代表者となっている共同研究を目的として、守山市地域包括支援センターが主催した「健康のび体操教室」および体力測定会の参加者から収集したデータです。

個人情報の内容は、参加者の氏名、年齢、体力測定値および問診内容です。住所、電話番号は、含まれておりません。紛失したデータは、USBメモリに保存されたもので、実人数で48人分です。

紛失したUSBメモリおよびデータには、保護対策はされていませんでした。

【経緯】

2018年4月9日(月)に教員の指導で研究の補助をしていた学生が、当日処理が完了せず、自身のUSBメモリにデータを移して帰宅しました。翌日、USBメモリがないことに気づきました。

学生は、教員からの指示に従い、駅や立ち寄り先などに遺失物の照会を行い、山科警察署に遺失物届を提出しましたが、現在も所在不明の状態です。なお、現在のところ個人情報の悪用などは確認されていません。

このような事態を受け、本学では、学長を中心とする対策会議を設置し、事実確認と原因究明を進めるとともに、守山市との協議を並行しながら、対応策を検討してきました。またあわせて、文部科学省に事態を説明し報告しました。

19日(木)には、守山市および「健康のび体操教室」参加者に対する謝罪文を同市に提出し、あわせて守山市の委託業者であり、共同研究者でもある株式会社ELT健康増進研究所に対しても同様の謝罪文を提出しました。

これを受け、守山市では、20日(金)に順次「健康のび体操教室」参加者への事情説明と謝罪とが、当該教員同席の上で行われました。この際、本学は、学長名による謝罪文を提出しました。

【原因】

今回紛失した個人情報を含むデータ管理および取り扱いは、当該教員が責任を負っております。本学研究倫理審査委員会では、データは匿名化して扱い、対応表は別途作成して保存することとしています。また、今回の共同研究において、学生が当該データを扱うことは、承認されていませんでした。

しかし、当該教員が学生をデータ処理に関わらせ、そのデータを学生が学外に持ち出しました。このことが個人情報紛失の直接の原因であり、また本学研究倫理に関するルールであったデータの匿名化も徹底されていませんでした。

本学において研究計画の適切な履行ならびに個人情報に関する理解および取り扱い等に関する教員および学生への指導が不徹底であったことが、今回の事態に至った原因であると考えます。

【今後の対応】

本学では、引き続き、当該USBメモリを探索します。万が一、「健康のび体操教室」参加者の情報が漏えいし、被害等が発生した場合は、本学が責任をもって対応いたします。

本学では、自治体関係者との連携による教育研究活動の結果収集した個人情報については、日頃から取り扱いに細心の注意を払ってまいりました。しかし、今回の事態を受けまして、大学として個人情報保護およびその管理ならびに研究倫理に関するルールの遵守をさらに徹底し、教職員および学生への指導に努めてまいります。

以上